



～ 生活の場で実践力を磨く～

リハビリセンター白鳥のある池田町白鳥には、サンビレッジ国際医療福祉専門学校もあり、介護福祉学科、作業療法学科、言語聴覚学科の学生がそれぞれの領域の専門家となるべく、日々勉強をしています。

しかし、医療/福祉は人相手の仕事であり、机上の学びだけでは十分ではありません。

そこでリハビリセンター白鳥を第2の校舎と位置付け、学校で学んだ知識、技術を実践力として高める授業も積極的に取り入れています。

ここでは「利用者も先生」、「スタッフも先生」という位置付けです。利用者の方々の生活の場にお邪魔する際の基本的なマナーや目上の方に接する際の接遇、態度等、今後、社会人として当然求められるであろうことも学生の内に学びつつ、学業の進捗に応じて専門的な実践的臨床教育を受けていきます。

「他人の痛みを我がこととして感ずる感性と
人が等しく生きていくことの福祉観を基本として」

この法人理念はサンビ校での教育でも一貫しており、感性豊かな専門職を育成すべく、利用者の皆さんと共に受け入れを行っております。



リハビリセンター白鳥の今をお伝えするニュースを、定期発行させていただきます。
是非、お目通しください。

リハビリセンター白鳥 職員一同